フッ化物洗口普及モデル事業実施報告書

市町村名	茂原市			フッ化物洗口開始年度		H18	
保育所数	0 / 12	幼稚園数	0/9	小学校数	1/14	中学校数	0/7

※ 実施施設数/全施設数(H19年3月31日現在)

【フッ化物洗口に関する前年度までの経緯】

市内の保育所・幼稚園に対し巡回歯科指導を、小学校については $1\cdot 3\cdot 5$ 年生、中学 1 年生に対し歯科保健指導を実施し、その中でフッ化物の応用について啓発を行ってきた。また、平成 15 年度から 2 歳児・17 年度からは 1-6 健診と 3 歳児健診でフッ化物歯面塗布を実施するにあたり歯科医師会とも協議を進めてきた経緯もあり、スムーズに進んだ。

【推進体制づくりの経緯】

実施事項	具体的な内容	評価
教育委員会・歯科医師会へ合議	平成 18 年 3 月 20 日付県の文章を受け、フッ化物洗口に対する理解を得るための説明を行った。	安全性に問題がなければと同意を得た。
校長会長への説 明	6/5 校長会での理解と募集のための説明に伺う。	萩原小学校からの申し出 あり

【施設における取り組み内容】

※今年度実施した施設ごとに記載のこと

施設① 萩原小学校・児童数 635 名・クラス数 2 2 ・職員 4 1 名 基盤整備と実施

- 三 正 M C 八 M C M C M C M C M C M C M C M C M				
実施事項	具体的な内容	評 価		
保護者説明会	内示前ではあったが、6/20(火)全学年の保護者を対	歯科保健とフッ化物に		
	象に「歯の健康とフッ化物洗口について」と題し	対する一般的な応用に		
	説明会を実施。(写真1)	ついても触れ、保護者の		
	講師は当市職員歯科衛生士が担当参加者約70人	理解が得られた。		
学校保健委員会	10/6 (金) 学校医・歯科医・薬剤師外フッ化物洗	安全性及び効果につい		
	口を実施するにあたり、理解協力を求める。	て理解が得られた。		
	10/31 (火) 東京歯科大学衛生学講座教授の眞木先	フッ素についての理解		
	生を講師にフッ化物洗口に関する研修会を実施。	が得られ、緊急時の対応		
教職員研修会	参加者は実施予定学校の教職員全員と、市担当者	や天津小湊の例にも触		
	3、長生村職員2、学校歯科医3名と薬剤師1名	れていただき、イメージ		
	(写真2)	がつかめた。		
	11/2(木)鴨川市立主基小学校に視察に行く。歯	薬の保管や子ども達の		
視察研修	科医師・教務主任・保健主事・養護教諭・市職歯	実際に洗口している姿		
	科衛生士の5名参加。鴨川市野宮保健師に同席し	を見て参考になった。		
	ていただき説明を受ける。			

保護者説明会	11/10(金)1 年生の歯科指導を保護者と一緒に実施 し説明。その後それ以外の保護者の参加を行い合 計 105 人の参加を得た。 その後希望調査を行う。	実際に洗口液をつくり 保護者に試してもらう ことにより,安心したよ うだ。
児童説明会	12/13(水) スライドを用い口腔衛生全般に触れてから、フッ素の効果や実施方法等、説明し質問を受けた。洗口の練習も行った。(写真4)	実施の手順の説明や水での練習を行いイメージがつかめたようだ。 質問として飲んでしまった時はどうしたらいいのか等
事前アンケート 実施	12月中旬 フッ化物洗口を始める前の意識と3月まで実施し た結果での意識の変化あるいは効果を探るために 実施	食後歯の汚れが気になるか等の質問をしたが、 あまり関心がないと思 われる回答が多い。
フッ化物洗口実施	1·3·5 年生初回 12/19 (火) 2·4·6 年生初回 12/20 (水) ・自宅で歯を磨いてから登校し、朝自習の時間に 洗口を行う。(写真 5 ①~④) ・ ミラノールを使用	低学年へのポンプの押し方が十分周知できていなかったため、分量が少なかった子が多かった。
新1年生保護者 説明会	2/2 新年度スムーズに進めるため新 1 年生の保護者説明会においてフッ化物洗口の説明をおこなう。参加者 98 名	基本的生活習慣の説明 にもなり、新生活に向け 準備が出来る。
事後アンケート実施	3月上旬 12 月に行った事前アンケートとの比較のために 実施。	生活習慣の改善がみら れたかを調査した。 集計中

【問題となったこと・今後の課題とその対応について】

- ①実施時間について:昼休みが25分の中での実施は難しいこと、外遊びをすると水を飲みたくなること、水道の数や廊下が狭い等の問題があり、朝自宅で歯をみがいてから登校させ、朝自習で実施となる。(配布からコップをしまうまで10分)
- ②実施しない子への対応について(未実施22人):水でうがいを勧めたが、やるかやらないかは子ども自身の判断でやらない子もいるが、今のところ問題は出ていない。
- ③転校生への対応について:パンフレットを渡し実施希望をとったが、詳しい説明が必要か?(3人中2人希望)
- ④モデル事業としての責任の所在について
- ⑤研修を受け「最低3年継続しないと効果は出ない」といわれたが、単年度予算では継続 性がなく無意味な事業になってしまうのではないか?

【19年度以降の事業の予定・市町村事業としての予算化の有無】

教育委員会からの予算で継続する。

また、平成 17.18 年度に文科省の「歯と口の健康づくり」の指定を受けた小学校で 19 年度より学校PTA予算で実施する。

【活用した参考資料や文献 ※特に有効だったもの】

名 称	概要	活用場面	費用や入手先等
フッ素でむし歯予防	むし歯予防のポイント	教職員研修	1 部 80 円
(リーフレット)	フッ素の概要・応用につ	保護者に配布	県でまとめて購入
	いて		(株)アイ・メディカル

写真1

写真2

6/20(火)保護者説明会の様子

10/31 (火) 教職員研修会の様子(講師眞木先生)



写真3

11/2 (木) 鴨川市立主基小学校視察研修





写真 4 12/13(水)児童説明会



